

福岡和白病院腎泌尿器外科で ロボット支援下手術を受けられた患者様へ

当院腎泌尿器外科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。

この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を経て、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	当院で実施するロボット支援腹腔鏡下手術において、HMD(Head Mount Display)を装着して手術介助を行う助手の作業効率の検証
当院の研究責任者(所属)	吉田 毅(腎泌尿器外科)
本研究の目的	ロボット手術において術者は術野から離れた手術専用コックピット(サージョンコンソール)の3D画面を見ながら手術操作を行っています。術野で手術の介助を行っている助手は術野から離れた2Dモニターを見ながら介助を行っておりこの助手がHMDを装着することによりVR空間で見やすい位置に手術画面を自ら調整し作業することができます。精緻な画面を間近で見ることができ、介助操作をより効率的に行うことが期待されます。このような報告は調べた限り無く、今後のVR機器を用いた手術の発展に寄与することが予想され、当院にて検証してまいります。
調査データ該当期間	西暦 2025 年 3 月 1 日 ~ 西暦 2027 年 2 月 28 日
研究方法	●調査の対象となる患者様 当院で実施されるロボット支援腹腔鏡下手術を受ける患者様のなかでオプトアウトに対して参加辞退を表明されなかった患者様全員。 <電子カルテに記載のある診療情報> ① 臨床所見(年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服歴、既往歴 他) ② 血液検査所見(検尿、血算・血液一般生化学検査 他)、病理学的所見 ③ 治療(手術時間、周術期合併症の有無 他) ④ メンタルワークロード評価手法(NASA-TLX 他)を用いた助手の作業成績など
個人情報の取り扱い	収集したデータは、患者様を直接特定できる個人情報は削除し誰のデータかわからなくした(匿名化という)上で統計的処理を行います。研究成果は学会等で発表を予定しておりますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	福岡和白病院 腎泌尿器外科 電話: 092-608-0001(代表) 研究責任者: 吉田 毅